



てくてくあきる野  
むかし発見！  
第16話「獅子舞を  
見に行こう！」

あきる野市内には、市指定無形民俗文化財の獅子舞が11件あります。今回はこの中でもこれからまだ見ることが出来る4件の躍動感あふれる勇壮な獅子舞を紹介します。

「瀬戸岡獅子舞」9月19日(日) 秋川駅北口を出て五日市街道を右へ進み、「秋川」の信号を左折して国道411号(滝山街道)を約1km進むと、「瀬戸岡南」の信号があります。ここを左折して約200m進むと、左手に林に囲まれた神明社が見えてきます。この神社の祭礼で奉納されるのが、瀬戸岡獅子舞です。約300年の歴史を持ち、今も地域で伝承されています。天然理心流の棒術が場を清め、獅子舞と交互に演じられます。神明社をはじめ、地域の数箇所で演じられます。

「小宮神社獅子舞」9月23日(祝日) 先ほど紹介した「瀬戸岡南」の信号を更に北へ進み、次の「瀬戸岡」の信号を右へ進みます。この交差点から5つ目の信号を鋭角に左へ曲がります。最初の小さな道を右へ曲がると、まっ

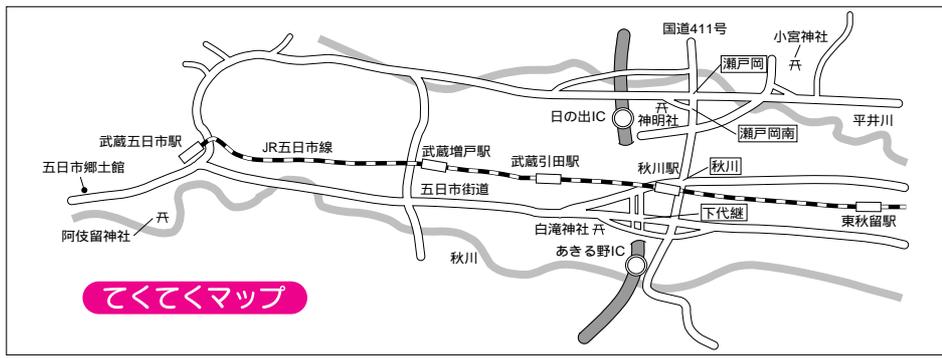
すぐな道となり、正面に小宮神社の鳥居が見えます。この神社の祭礼で奉納されるのが、小宮神社獅子舞です。江戸時代末ころから伝えられ、この地域に受け継がれています。小宮神社をはじめ数箇所で演じられます。

「上代継獅子舞」9月26日(日) 秋川駅南口を降りて右へ進みます。秋川陸橋まで来たら左へ曲り、道なりに進みます。新しい都道に合流し、「下代継」の信号を右へ曲つたら道路左側を進みます。坂を下つて歩道橋の手前を左に入り、階段を降りると眼下の森の中に白滝神社が見えます。この神社を皮切りに、真城寺など上代継地区の数箇所で演じられるのが上代継獅子舞です。約340年前より始まったと伝えられています。

「五日市入野獅子舞」9月28日(火)から30日(木)の3日間 武蔵五日市駅より徒歩約6分、阿伎留神社の祭礼に奉納されるのが五日市入野獅子舞です。9月28日から3日間の長丁場で行われる祭で、阿伎留神社をはじめ数箇所で演じられます。今から約400年前に伝えられたと考えられています。過去に使われていた獅子頭は、現在五日市郷土館で展示しています。

この祭が終わると、あきる野もいよいよ秋本番となります。各地域の人々たちにより、伝統が守り伝えられている様子をぜひまじかで体感してみてください。

がですか。それでは伝統芸能(獅子舞)の旅に出かけてみましょう！  
詳細な情報が知りたい方は、あきる野市ホームページのトップページから観光情報・文化・歴史 郷土芸能・祭礼とたどって頂くと場所や時間等を掲載していますので、あわせてご利用下さい。



てくてくマップ

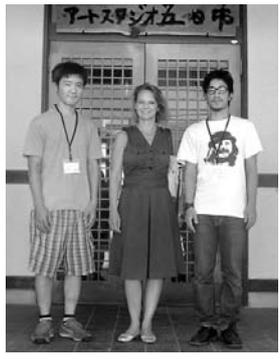
平成22年度アーティストインレジデンス事業

教育委員会では、アーティストが5日市(戸倉300番地)に9月1日から11月30日まで外国人1人と国内から2人の計3人の若手版画家を招き、小学生や地域との文化交流を図りながら版画の創作活動を行うアーティストインレジデンス事業を実施しています。

今年度で18回目を迎え、アーティストの出身国もアメリカ、ブラジル、オーストラリア、ポルトガル、インド、イタリア、ブルガリア、ドイツなど16か国に及んでいます。

今年度は、次の方々を招いてレジデンス事業を実施しています。

- 写真右から  
杉本泰三さん(東京都小金井市在住)
- Alessandra
- Agnonlonさん(イタリア・ベネチア在住)
- ながさわたかひろさん(東京都瑞穂町在住)



平成22年度あきる野市教育フォーラム

テーマは、おとなが手本のあきる野市「子どものやる気を引き出す親子間のコミュニケーション術」です。

健全な心を育てるには、「子どもの頃からの良好な親子関係が大切である。」と多くの教育関係者から指摘されています。

そこで、親子のコミュニケーションの重要性を再確認するとともに、適切なコミュニケーションの中で、子どものやる気を引き出すスキルについて学ぶことを目的として、学齢期の子どもの抱える保護者や地域の方々を対象とした講演会を実施します。

入場は無料で、どなたでも入場できます。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時 10月16日(土) 午後1時30分から  
会場 秋川ふれあいセンター(ふれあいホール)  
講演 「子どものやる気を引き出す親子間のコミュニケーション術」  
講師 「わいわいギルド」代表 心理療法士 星 一郎氏  
問合せ 指導室 558  
2431